

## 第2回 足羽川桜つつみ協議会 議事要旨(案)

- 開催日時 : 平成19年5月11日(金)午後1:30~4:00  
開催場所 : 福井市地域交流プラザ 6階 研修室601BC  
出席委員 : 葉袋奈美子 (福井大学 建築建設工学科 講師)  
今井三千穂 (総合グリーンセンター、樹木医)  
内藤 汎 (福井市都市景観審議会 委員、樹木医)  
朝倉 邦真 (社)福井青年会議所)  
石川 裕夏 (福井商工会議所 青年部)  
中山 重成 (桜並木を守る会 代表)  
橋本 浩 (財)福井観光コンベンション協会)  
平井 博政 (NPO 法人ドラゴンリバー交流会)  
上村 祥代 (一般公募:福井大学)  
松下 幸男 (一般公募:毛矢五の組自治会長)  
荒井 證次 (足羽子ども会育成会 会長)  
藤井富士雄 (足羽エコ探検隊 隊長)  
安本 暢男 (福井南ロータリークラブ)  
吉岡 正博 (スリーAクラブ)

### 1. 開会

### 2. 議事

- ・前回協議会以降の経過報告について
- ・植栽計画の検討について
- ・施設計画の検討について

事務局:(資料-1~3の説明)

#### 【擁壁について】

荒井委員:高さが2.1mもあると、圧迫感があり景観的にも良くないので、低くした方が良い。  
また、堤防の道路側は南向きで直射日光があたる。現在ある桜を切った後は、照り返しで体感温度が上がるのが懸念される。緑化ブロックやシバザクラ等の植栽で擁壁からの照り返しを遮る工夫が必要と考える。

吉岡委員:圧迫感を和らげる工夫として、ツタで緑化させたらどうか。

松下委員:植栽ブロックにスイセンを植えるのも良い。

内藤委員:擁壁緑化のツタはヘデラヘリックス、低木ではコトネアスターが適当である。擁壁の高さは、沿川住民の生活環境に重点を置いて、桜の土層が薄くなっても、目線の高さ程度に抑えた方が良い。

藤井委員:地元ワークショップでは1.5mくらいの高さなら良いという意見であった。

事務局:文献等の資料から最低90cmの土層を確保して計画している。擁壁の高さについては、壁面緑化の検討と合わせて、土層が薄くても木の成長に支障が無いか、樹木医

の方に相談して判断したい。

松下委員：桜橋から幸橋までの擁壁の高さは 30cm 下げて 1.8m にし、デザインを良くしてもらいたい。

内藤委員：土層厚によって桜の大きさがどう変わるかは、やってみなければ分からないが、植物は人間が考えているよりも強いものである。土層が薄くなる分、少し小さい桜を植えて根付きを良くすれば、十分育つと考える。

今井委員：桜は低木性のもものと高木性のもがある。この計画で育たないことはないと思うが、将来大きな桜を望むのであれば、土層厚や植付け間隔等について、技術的に深く検討する必要がある。

葉袋委員長：樹木医の方から植える木について適切なアドバイスを受けて、擁壁の高さが人の視線程度までに抑えられるよう計画を再検討することを事務局に願います。

### 【舗装について】

荒井委員：地下に浸透させる環境に良い透水型のアスファルト舗装は使えないか。

藤井委員：アスファルトは気温が高いと融けることがあるので、歩きやすさも考慮して真砂土の舗装が良いのではないか。

松下委員：テニスコートで使用するような緑色の舗装は、弾力性もあり歩きやすく良い。

事務局：透水性舗装は堤体内に水がしみ込むため、堤防の安全上良くない。また、景観的に良い舗装は、高価なためきめ細かな維持補修が出来なくなる恐れがある。

吉岡委員：桜の根で舗装が浮き上がったりすることがあるので、補修がしやすい材料が良い。

葉袋委員長：堤防の安全性が確保でき、かつ補修のしやすいもので計画することとする。

### 【雪捨て場について】

荒井委員：堤防沿いで三叉路になっている付近が、道路除雪の雪置き場になっている。高い擁壁では雪が置けず除雪に支障がある。

事務局：桜並木を整備する以上、擁壁は必要となる。雪置き場が確保できなければ、他の場所に排雪してもらえない。

葉袋委員長：積雪が多くなればどこの地区も排雪していることである。地域の方で工夫していただき、問題が出ればその都度対応してもらいたい。

### 【トイレについて】

松下委員：有楽公園から幸橋までの距離が長いので、間に 1 箇所設置しても良い。

事務局：トイレについては、アンケートで設置の要望が多かったが、住宅が張り付いている堤防沿いの状況や維持管理を考慮すると、常設は妥当と思われない。人が多く集まるイベント時は、仮設トイレで対応すれば良いと考える。

朝倉委員：公衆トイレは、清潔さが維持できないので、使用されていない所が多い。特に若い女性は使用しないようである。また、設置するにしても場所に問題がある。どうしてもトイレが必要なら、今あるものを作り直す程度で良いと考える。

中山委員：防犯やモラルの問題を考えると、仮設トイレによる対応が妥当と思う。常設は控え

た方が良い。

松下委員：有楽公園のトイレをきれいに整備する方法もある。

葉袋委員長：堤防沿いの飲食店の協力等も得ることで、トイレの新設は控える計画とする。

### 【植栽について】

藤井委員：地元ワークショップでは、テング巢病に強い品種で、ソメイヨシノによく似た色の桜にした方が統一感があり良いという意見であった。

中山委員：ソメイヨシノ系の桜、サトザクラ、川側のサクラの3段構えとする多様性の案も有意義である。特に、サトザクラにはおもしろさを感じる。

今井委員：河川環境整備検討会においても、ソメイヨシノ一辺倒ではなく多様性をもたせた桜堤計画が提案された。多様性・多層性の案は、新しくおもしろい考えだと思う。品種については、降雪という北陸の地域特性を考慮して、雪に強いものを選定する必要がある。

石川委員：新しい魅力創出という点で良い案だと思う。春以外の季節も考慮した植栽もほしい。

平井委員：混植にすると花の期間が長くなり、子供たちが河川敷で桜の花を楽しみながら遊ぶことができる期間も長くなる。幼稚園や小学校の春の散歩等でも、必ずどこかに桜の花が咲いていることになるので良いと思う。また、日本人と桜の関係や桜の豆知識に関する解説板を設置し、学びの場所とするのも良い。堤防等にシロツメクサやレンゲソウの広場を設け、それを摘んだりして遊びながら、人と植物のつながりを学ぶ場所にしたらどうか。

安本委員：昆虫が多くいるような自然を体験できる場所になると良いと思う。

葉袋委員長：丈夫な堤防にすればするほど、川は近寄りやすいものになり人の生活から遠ざかる。子供達が普段から川に親しみを持って、水の怖さや自然の恵みを体験できることが重要であると思う。

上村委員：最初は日本一の桜のトンネルであってこそ価値があると考えていたが、多様性の植栽案もいろんな花が長く楽しめて良いと思う。

吉岡委員：ソメイヨシノ系の品種を植え、手前に色々な品種を植える方法が良い。図のイメージもすばらしい。ただし、違う品種の交互植栽はやめた方が良いと思う。

藤井委員：ソメイヨシノがなくなっても、2~3種類の桜が残るようにした方が良い。

葉袋委員長：東京の上野公園には50種類くらいの桜があり、相当長い期間桜を楽しむことができる。ソメイヨシノの時期を逃しても、写真に撮って思い出になる場を作ることができる。足羽川についても同様に、色々な品種を植える計画でまとめることとする。

### 【足羽山の借景について】

事務局

(名津井課長)：足羽川の桜並木は、対岸から足羽山を借景にして見るという観点もある。桜並木のあり方について、左岸堤防の並木のボリューム感だけに着目するのか、借景の観点も必要なのか意見を伺いたい。また、借景を考える場合に、土層を薄くして桜の樹高を低くするということが、技術的に可能なのか伺いたい。

内藤委員：多様性・多層性というのは、変化に富んだ景色を造ることである。足羽山の借景も利用した方が良い。擁壁の高さを低くして土層を薄くするならば、それに合った品種を選ばなければならない。できるかどうかというよりも、実現するために努力する必要がある。

葉袋委員長：ほとんどの場所がビルで視界が遮られており、堤防は通りが抜けている所でしか見えない。また、堤防が高く、対岸から足羽山を見られる場所は橋詰くらいしかない。

吉岡委員：こんもりとした桜の大木の下を通られるのが、足羽川の良いところである。借景よりも、堤の桜を大きくすることを考えた方が良いと思う。

朝倉委員：左岸の桜並木の利用は、その多くが堤防上を歩くことである。借景まで考える必要はないと思う。

橋本委員：福井の山並みには紅葉が少ないので、山を見たりするときに借景の考え方も必要なのではないかと思う。

藤井委員：右岸側の堤防があまり整備されていないので、足羽山を望む場所がない。堤防と足羽山をつなぐ道の整備も必要と思う。

内藤委員：長い堤防を歩くごとに景色が違うというように、桜並木自体にもいろいろ味つけして変化をもたせるべきである。金太郎飴のようにどこの場所も同じでは良くない。

中山委員：堤防上を歩いて楽しむ人が多いので、歩く視点での景観を良くするようにした方が良い。遠方からの見栄えを意識する必要は無い。

事務局

(名津井課長)：右岸の堤防上を歩く人の視点を調べた上で、改めて提案させてもらいたい。

### 【安全柵について】

荒井委員：擁壁からの転落に対しては、フェンスよりも植栽で安全対策をしてほしい。

内藤委員：法面があるとはいえ 1.5m以上の擁壁では、柵あるいは低木がないと危険である。地覆植物だけでは転落防止の機能はない。安全対策は必要と思うので、低木を安全柵代わりに植えて、散歩に来た人が毎日楽しめるようにした方が良い。

事務局：地元では、低木に引っ掛かった観光客の捨てたゴミの掃除に苦慮しているようで、特にアジサイは掃除の際に雨露で服が濡れるなど大変苦労しているという意見があった。

吉岡委員：擁壁の高さが2m近くもあれば、柵は必要である。

事務局：通常、斜面下の擁壁には柵を設けていないが、足羽川堤防のように人が多く来るような所では、転落することもあるかもしれない。低くても転落したときに掴まれるものを検討する必要があると思う。

葉袋委員長：桜を多く植えれば、これにぶつかって止まることもある。柵を設置する場合は、安全基準を満足するだけのものが必要となり、かえって景観を悪くする場合もある。子供や車椅子の利用も想定するなど、慎重な検討が必要と考える。

事務局：試験施工のように堤防高さまで擁壁を積上げた所は、人が擁壁際まで近づけるので転落防止柵を設けている。

藤井委員：シバザクラ等の背丈の低い草なら良いが、アジサイは管理上困る。

吉岡委員：自転車利用もあり、過去に自転車が落ちた例もあるので、柵は必要である。

朝倉委員：例えば、堤防上の遊歩道の脇に、路面より少し高くなるくらいの低木を植栽し、柵代わりにすれば良いと思う。

葉袋委員長：今すぐ結論を出すのは難しそうなので、他の事例を調べて、手入れしやすい植栽、柵などを提案していただくことを事務局に願います。

#### 【事業について】

中山委員：近くのマンションに引っ越してきた人が、朝散歩をしており、桜の幹の太さに感心していた。桜並木を将来とも堤防上に残せるようにするための工事を、激特事業でできない区間についても引き続き進められるのかどうか心配である。

事務局：桜橋から下流の区間についても、事業化は必要であると考えている。

葉袋委員長：事業化に対する市民からの圧力も必要であり、我々も考えていかなければならない。

#### 【幸橋下の河川敷通路について】

松下委員：地元ワークショップで意見があった幸橋下の通路や階段は設置できるのか。

事務局：設置に向けて計画を検討している。

#### ・維持管理の検討について

#### ・撤去する桜の有効利用の検討について

事務局：(資料 - 4 ~ 5 の説明)

#### 【植栽の管理について】

松下委員：桜の管理により他では 100 年保たせている事例もある。

今井委員：桜の管理は若木の時から必要である。弘前公園では、老木になると専門家の指導のもとに、ぼう芽をふかして長持ちさせている。テング巣病はカビの繁殖であり、管理を頻繁にすれば防ぐことができる。現在の足羽川の桜は、樹勢はあまり衰退していないようである。

葉袋委員長：川側の桜でシンボリックなものは積極的に管理して、できるだけ長く残せるようにすべきだと思う。

#### 【維持管理体制について】

荒井委員：日本の桜 100 選にも選ばれた桜なので、NPO や一般のボランティア、地元住民の協力のもとで維持管理をお願いしたい。植栽コンテスト等で市民のボランティア意識を高めるのもよいと思う。

松下委員：撤去した桜で思い出の品を販売して、維持管理費を出したらどうか。

葉袋委員長：買ってくれる人、製作する人、そういった窓口を作らなければならない。アダプト制度は、企業のイメージアップとして街路樹の管理などに活用されていると聞いている。足羽川の桜も 100m 単位で区間を区切り、区間毎に様々な企業体や有志のグループに維持管理をお願いするのも良いと思う。

石川委員：足羽川の桜は福井の誇りなので、役割分担は、地元と行政の2者だけでなく、地元以外の福井市民も巻き込んだ方が良い。その際に地元、行政、福井市民をつなぐ中間組織が必要と思う。アンケート結果からも、市民には協力したいという意識がある。今足羽川の維持管理の何が問題でどうしたいかを市民に情報提供することも必要と思う。

葉袋委員長：協力する意志のある方は大抵個人である。公園等の管理では、行政がボランティアの受け皿を作っておいて、楽しく管理に携われるようにしている所もある。どちらにしても誰かが窓口になって、積極的にマネジメントしないとうまくいかないと思う。今回の場合、マネジメントをするのは福井市になるのか。

中山委員：市民の憩いの場所なので、桜の管理者である福井市が積極的に係わるべきである。組織の立ち上げにつなげるために、市自らも桜への強い思い入れが顕れるような姿勢を示す必要がある。

葉袋委員長：もともと民間に始まって民間で育ててきた桜であり、市民の強い要望があって残す桜なので、市民の方も責任を持って、残せと言った声を引き継がないといけないように感じる。基本的には、今回提案していただいた形で維持管理体制を整えられるように進めていくということで、福井市には声かけをお願いしたい。

#### 【桜の有効利用について】

松下委員：桜を切る前に、これまで楽しませてもらった桜への感謝を込めて、何か恩返しができたらと思う。

藤井委員：地元でベンチを作って堤防に置いたことがある。体験学習として、桜の木で炭の作り方を学んだらどうか。

葉袋委員長：伐採する桜については、自然史博物館でのイベントや福井市美術館での市民参加の工作教室で使っていただくなど、いろいろな利用の場があるのではないかと思う。

### 3. 事務局からの連絡等

事務局：次回の協議会は、6月上旬で日程調整する。

### 4. 閉会

以上